



毎月十五日発行
所 宗像大社
宗像大社
〒811-3505 福岡県宗像郡玄海町
電話 0940-62-1311代
http://www.munakata-tasha.or.jp
定価 一年送料共 1000円

節分祭齋行

鬼は外・福は内

二月三日午前十時から祈願殿で節分祭が斎行された。



らぎ、早朝から地元「玄海幼稚園」、この一月に開園した「風の子保育園」の園児ら、氏子

役員、地元総代、宗像市・郡の議員など約百人が参集し、祭典が始まった。

先ず神前にお供えされた約六千袋の福豆袋をお祓いし、太田宮司が今年一年の無病息災・延命招福の祝詞を奏上し続いて、宮司、参列者代表らが玉串を奉り拝礼した。「鳴弦の儀」は神職二人が、祈願殿正面階段上で、裏鬼門(東北)の天空、裏鬼門(南西)の地上に向けて、葦矢・桃矢をそれぞれ三度射て、天地の邪気を祓い清めた。その後一同祈願殿を出て、階段上で豆打ち式を行った。階段下には平日にも関わらず多

現在「節分」とは立春の前日、太陽暦では二月三日または四日を指します。

節分祭

一年の無病息災・平穩無事を御祈念するのです。

本来は季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日それぞれを「節分」と申していま

初め」となるためです。その為この日に災難を除き、悪鬼・邪鬼を追い払う、或いは厄除けのお祓いをうけ、

われまします。当社でも例年節分祭の「豆打ち式」が行われています。

神具・装束 株式会社 井筒

福岡市博多区東公園二二一ノ三 電話 093-651-1945
本店 京都市下京区油小路一条北入 電話 京都部 075-343-3341

木組の家 匠の技

総合建設業 株式会社 弘江組
事務所 福岡県宗像市大字福元一〇二五 電話 0940-032567

文化財防災デー

玄海町全消防分団出動

くの参拝者が詰めかけ、今か今かと待ちわびる中で、神島権宮司が前導して「鬼は外、福は内」の第一声を唱え、

御礼

節分祭齋行に際しましては、御崇敬の皆様方より心からなる御協賛を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、祭典も無事盛大裡に斎行することが出来ました。ここに紙面をかり、謹んで御礼申し上げますと共に、皆様方の益々の御繁栄を心より祈念申し上げます。

宗像大社社務所

各位



文化財防災デー

一九四六年(昭和二十一年)一月二十六日に、奈良県斑鳩町の世界最古の木造建築である法隆寺(現在世界遺産)の金堂で火災が発生。国民的財産である金堂の内部、貴重な

車場に集結。素早くそれぞれの配置につき、放水を開始した。約十分後無事鎮火、消火活動を終了した。本番さながらの消火活動に、多くの参拝者も圧倒されて見入っていた。

その後、参加者一同が第一、駐車場に整列。太田宮司が御礼の挨拶、宗像地区消防本部・玄海町消防団白石団長の「宗像大社の国民的財産ともいうべき文化財を、大社職員は勿論、地域を挙げて文化財を守っていきましょう」との講評があり、今年

発見した巫女が直ちに火災報知器を押し、社宝館で収蔵・展示する約十二万点にのぼる国宝・重要文化財を火災から守る為、文化財防

消防団は本殿へ急行。パケツリレーで消化作業を行い、無事鎮火となつた。(例年本殿でも放水したが今年は日曜・大安で参拝者が多かつた為中止)

引き続き、折からの強風にあおられ、祈願殿にも延焼したとの想定で訓練が行われた。当日、時折冷たい雨が降りしきる中、午前九時に本殿裏の森から出火、本・拝殿に延焼が迫っていると想定で開始された。火災を

文化財防災デー

が設けられた。この日を中心に全国各地で防火訓練が行われている。

というところもあり、例年は第一(田島)以外の各分団には順番で一分団ずつ出動していたが、今回は二(池野)・三(鐘崎)・四(神湊)分団にも依頼し、玄海町消防団全分団での訓練となった。四月から玄海町消防団は宗像市消防団に加

十二万余点にものぼる国宝・重文指定の御神宝と太古のままの御生林を今に残す沖ノ島大陸との重要な関わりを持ち、永い歴史を有する御神域は、この春の市・郡合併による新生「宗像市」のまちづくりのシンボルとしての重要な役割を担って行くであろう。

これからの宗像を背負ってゆく若い世代の心に訴え、市民の宝として広く認識していただけるよう、新市となつて初めての夏、「神宝館特別展」の企画が実現に向け進行している。

沖ノ島の御神宝を通して、宗像の素晴らしさを見つめ直し、世界遺産という大きな夢に向けて地域と共に歩き始める。

今年生きた手の人々が共有し、次の世代に引き継いでいくべき人類共通の宝物「世界遺産」。

「文化遺産」自然遺産を兼ね備える「複合遺産」の柱からなり、ユネスコを本部として活動を行っている。

現在、世界一二ヶ国六九〇件、日本国内では十一件が登録されているが、複合遺産の認定は現在のところは無い。

昨年十一月の「沖ノ島シンポジウム」の後、沖ノ島を中心とした宗像大社の御神域を日本初の複合世界遺産にという気運が、高まっている。

今年生きた手の人々が共有し、次の世代に引き継いでいくべき人類共通の宝物「世界遺産」。



第四十六回

宗像マラソン大会

地方マラソンの草分けの大会で、今回四十六回を数える「宗像マラソン大会」(主催：宗像市・郡体育協会、西日本新聞社、後援：宗像大社、宗像地区教育事務連絡協議会、玄海町観光協会、玄海町体育協会)が、一月二十六日(日)当大社を主会場に開催され、約千人のランナーが初春の宗像路を駆け抜けた。午前十時の一男子中学生的部を皮切りに各種目順次スタート。開会式では持ちこたえていた雨が、この頃には雨が降り出していたが、選手たちは寒さに負けず力走していた。



各部の上位入賞者、記録は次の通りです。
【三キロの部】
中学生男子の部
一位 岩田 勇治 (福岡市・和白丘中)
タイム〇九分〇〇秒
二位 山下 修司 (宗像市・日の里中)
三位 久保田裕亮 (宗像市・日の里中)
中学生女子の部
一位 川畑奈都美 (北九州市・高須中)
タイム一〇分八秒
二位 狩野 美砂 (宗像市・日の里中)
三位 嶋野 乃理子 (宗像市・日の里中)

【五キロの部】
高校生男子の部
一位 西郷 博文 (福岡市・玄洋館)
タイム一六分四九秒
先代の置鮎与市氏には、昭和四十六年に「千利休」座像の博多人形を奉納頂き、正弘氏には昭和五十六年に「浦安の舞」人形を、今回の「主基地方風俗舞」人形は同氏製作の作品で二作目の奉納となりました。

置鮎正弘氏 (博多人形師)

「主基地方風俗舞」人形を奉納



博多人形師で、当大社の特別授与品である「狛犬」・「翁面」奉製者の置鮎正弘氏が、冬「主基地方風俗舞」人形を奉納された。十二月二十三日の天長祭終了後、当大社太田宮司より感謝状と記念品が贈呈された。置鮎氏は、博多人形師置鮎与市氏の四男として昭和五年十月十八日、福岡市博多区須崎町で生をうけ、跡を継がれ博多人形師二代目として、七十二歳の今も精力的に活躍されている。

博多人形師で、当大社の特別授与品である「狛犬」・「翁面」奉製者の置鮎正弘氏が、冬「主基地方風俗舞」人形を奉納された。十二月二十三日の天長祭終了後、当大社太田宮司より感謝状と記念品が贈呈された。置鮎氏は、博多人形師置鮎与市氏の四男として昭和五年十月十八日、福岡市博多区須崎町で生をうけ、跡を継がれ博多人形師二代目として、七十二歳の今も精力的に活躍されている。

先代の置鮎与市氏には、昭和四十六年に「千利休」座像の博多人形を奉納頂き、正弘氏には昭和五十六年に「浦安の舞」人形を、今回の「主基地方風俗舞」人形は同氏製作の作品で二作目の奉納となりました。同氏は当大社に崇敬の念極めて厚く、沖津宮参拝を始め各恒例祭典にも参列頂いている。また地元の氏神である、博多総鎮守櫛田神社の山笠の山車(たし)等の飾りつけもされている。ここに置鮎氏の今後の更なる活躍を心から祈り申し上げ御礼申し上げます。

昨日十月から毎週木曜日の週刊で「神社紀行」という全国の古社・大社といわれる神社を取り上げた本が全五十巻で、刊行されています。当大社は十五巻で二月十三日に全国一斉発売されました。全面カラーのA4サイズで、一冊五六〇円写真が豊富で一般の読者にも非常に分かりやすい。この本で取り上げた神社のほぼ全てが理解出来てしまうと言っても過言でない仕上がりになっています。日本人の心の原風景を求めて、かねてから一生に一度は訪れてみたい神社について、ページを開いてみてはいかがでしょう。尚、十五巻「宗像大社」は当大社・宗像大社に授与致しております。



週刊『神社紀行』のご案内

- 1 出雲大社
- 2 日大社
- 3 厳島神社
- 4 北野天満宮
- 5 熊野三山
- 6 宇佐神社
- 7 八坂神社
- 8 大神神社 右土神宮
- 9 伊勢神宮
- 10 金刀比羅宮
- 11 諏訪大社
- 12 伏見稲荷大社
- 13 美保神社
- 14 日吉大社
- 15 宗像大社
- 16 日光東照宮
- 17 荒山神社
- 18 出羽三山神社
- 19 多賀大社
- 20 吉野の古社

- 21 松尾大社
- 22 日枝神社・神田明
- 23 香椎宮・宮崎宮
- 24 大山祇神社
- 25 上賀茂神社
- 26 熱田神宮
- 27 鹿島神宮 香取神宮
- 28 住吉大社
- 29 浅間神社
- 30 石清水八幡宮
- 31 志波彦神社
- 32 津島神社
- 33 霧島神宮
- 34 彌彦神社
- 35 水川神社
- 36 大國魂神社
- 37 吉備津彦神社
- 38 岩木山神社
- 39 貴船神社
- 40 氣比神宮・氣多大社
- 41 寒川神社
- 42 御嶽神社・戸隠神社
- 43 波上宮・御嶽
- 44 三嶋大社・箱根神社
- 45 白山神社
- 46 秩父三社
- 47 鶴戸神宮
- 48 秋葉神社
- 49 大宰府天満宮
- 50 西宮神社
- 今宵戎神社

「ゼロからの再出発」④
防がなければならないが、ある程度の工業力の保持は必要、となった。ポリーレ報告は事実上棚上げされた。出光は四六年九月、石油業再建の基本方針と石油配給のあり方について、それぞれ建議書、意見書を出している。ラジオ修理業やタンク底の廃油回収で、なんとか創えをしいてきたところである。

石油業再建の基本方針は佐三が直接、星島二郎商工相に手渡した。その骨子は、①日本市場を外油に独占させないこと、②太平洋岸の製油所を早急に復旧、再開すること、③国内石油企業が大同し、巨大規模の製油所をとりあえず関東と関西に建設すること、④として反対し、削除された。出光はその四九年三月、公団解散後の元売り指定社の中に入り、独立独立の石油業者となった。日本石油との特約契約は、このとき解消している。業界復帰には、佐三を中心とした従業員の不届の努力があった。このうまでもない。



元売り指定当時の清水出張所 (静岡県)

佐三の年来の理念、方針を具体化した堂々たる正論だが、もちろん反応はなかった。総司令部とは、石田正實(のち出光興産社長、会長)らが出向いて接触を深めていた。四七年六月、戦争中からあった石油配給会社を解散し石油公団が発足した。十月には販売業者が指定され、出光はこれに入って念願の業界復帰を果たした。公団側は当初、出光を指定する気はなかった、という。指定要領案の中に、わざわざ出光を除外する項目を入れていたのだが、これには総司令部が「機会均等、自由競争の原則に反する」として反対し、削除された。出光はその四九年三月、公団解散後の元売り指定社の中に入り、独立独立の石油業者となった。日本石油との特約契約は、このとき解消している。業界復帰には、佐三を中心とした従業員の不届の努力があった。このうまでもない。

決断力

その時昭和の経営者たちは 出光興産株式会社 出光 佐三 店主

第六十五期 出光店主室教育

宗像大社研修感想文

毎年春と秋に当大社で行われる出光興産株式会社の宗像大社研修が、十一月二十六、二十九日まで行われ、北は北海道、南は九州まで全国各地から、平均年齢二十六歳十ヶ月の「出光興産」の将来を担う中堅社員二十四人が、四十日間に及ぶ研修の最終地である当大社での研修を無事終了した。



愛知製油所 製油二課 金子 英俊

十二月五日、我家に神棚をおまつりした。神を購入し、自分が飲みたいのも我慢して宗像大社で頂いたお神酒をお供えした。毎日感謝の意を込め、拝している。

研修後の入院となったが術前の検査で、おはすの筋腫が消えており、医学上ありえない出来事に担当医も首をかしげていた。結局、手術は見送りとなり妻も健康そのものである。タイミングもあるが私が店主室教育に参加しなくてはならぬ。切にしている。

これは大所帯となつた我が社に外ではなく、店主が大切にしている。初めて羽織袴の着付けに皆悪戦苦闘、そして、夜も更けいよいよ静けさよとして暗闇、荘厳な雰囲気の中で目を閉じ正座する。しばらくすると今までの気が付かなかつた自然の音が耳に入ってくる。

直会の後有志での鎮魂を含めると三回の鎮魂を経験したが、いずれも同様の気持ちになりました。但し三回は少々時間的に頑張ったせい以後半は痛み又、大島で遠くにかすかに浮かぶ沖ノ島の姿、そして最終日の雅楽の調べと巫女さんの舞が今も目頭を熱くします。

この宗像研修は、「鎮魂」「潔斎」が余りにも有名であり、諸先輩方から伺われている情報に聞きかたされて来ました。到着したその日に早速その時がやってきました。白衣・白袴に着替える為の「潔斎」の時という十二月になる時としては、冷たい！「オウッ！」と唸り声を上げながら清める。

今、日本を取り巻く環境は激変しています。「致団結」「不言実行」との精神を、実践しながら強い出光、強い日本を作り上げなければならぬ。又、日本人としての誇りを持つるよう、自らが努力して行かなければならないと思つていました。

大島 越智 治子 音もなく初雪降りくるこの朝の海峽の視野波頭しるし (評) こちらは同じ初雪を詠いながらも叙景に徹し力強い歌となつた。

田島 森 甲子 新春のワイド・ドラマの忠臣蔵日本人われ飽くことなし (評) 自嘲しながら見入っている作者。忠臣蔵は日本人の心の原点かつ見つめる。

宗像での研修は時間的に余裕が無かつたが、人として日本人として生きていく上での問いかけに大きな価値を見出すことが出来た。神道の考え方や教育勅語の意味するものは、現在の日本人が忘れてきている大切なものを取り戻すよう呼びかけている。文明の発達、何一つ不自由のない生活は苦勞を忘れ、核家族化にもなる無関心な日本人を形成してしまつた。希薄な人間関係はお互いの成長を阻害し、自己本位な価値観を大切にしていく。

店主室教育の締め括りとして、宗像大社で研修させていた千葉の班員が、大社の歴史及び日本人について研修討論してまいりましたが、ここで日本人の心底に流れるものを体感する事が出来たと思つてます。雨の日の宗像大社到着、傘を用意していたのでの歓迎に感激し、その後皆大声を出して済ませた潔斎、更に、着かた、たたみ方

等、初めて羽織袴の着付けに皆悪戦苦闘、そして、夜も更けいよいよ静けさよとして暗闇、荘厳な雰囲気の中で目を閉じ正座する。しばらくすると今までの気が付かなかつた自然の音が耳に入ってくる。「ヒュー」という風の音、風で木の葉がすれすれ「カサカサ」という音、給湯がゆるる「カタカタ」という音など、自然の中の自分を感じ、やさしい気持ちになる。頭の中には今回の研修の事、留守をまもる家族の事、差し入れや激励をしてくれた職場の上司同僚の事などが駆け巡り、自然と感謝の念が沸いて来た。

今回の経験は私の心の記憶に一生とどまるものと確信しております。ありがとうございます。二日目には、「高宮」で行いました。真つ暗な森の中、聴こえるのは風に揺らぐ木々の音。これはこたえませんが、これまでの日々を思い返すには絶好の時間でした。

いきなりの板間での正座。これはこたえませんが、これまでの日々を思い返すには絶好の時間でした。二日目には、「高宮」で行いました。真つ暗な森の中、聴こえるのは風に揺らぐ木々の音。これはこたえませんが、これまでの日々を思い返すには絶好の時間でした。

福間 池浦千鶴子 サークルの友みな若しその中の先輩者われ陶土を捏ねる (評) 若いサークル仲間へ向け、焼き物に挑戦する作者、簡潔な下句が生きている。

武丸 中村さつき 見の限り初雪積るも安心す東京の曾孫ら昨日帰り (評) 正月明けの帰省ラッシュの足を渋滞させた今年の初雪であったが、ああ良かったこの雪の前に曾孫達を帰して、安堵している作者の姿が見える。

光岡 森田富佐子 本で知る長葱作り食卓に子らと楽しむスキヤキうまし (評) 自働しながら見入っている作者。忠臣蔵は日本人の心の原点かつ見つめる。

宗像での研修は時間的に余裕が無かつたが、人として日本人として生きていく上での問いかけに大きな価値を見出すことが出来た。神道の考え方や教育勅語の意味するものは、現在の日本人が忘れてきている大切なものを取り戻すよう呼びかけている。文明の発達、何一つ不自由のない生活は苦勞を忘れ、核家族化にもなる無関心な日本人を形成してしまつた。希薄な人間関係はお互いの成長を阻害し、自己本位な価値観を大切にしていく。

直会の後有志での鎮魂を含めると三回の鎮魂を経験したが、いずれも同様の気持ちになりました。但し三回は少々時間的に頑張ったせい以後半は痛み又、大島で遠くにかすかに浮かぶ沖ノ島の姿、そして最終日の雅楽の調べと巫女さんの舞が今も目頭を熱くします。

今回の経験は私の心の記憶に一生とどまるものと確信しております。ありがとうございます。二日目には、「高宮」で行いました。真つ暗な森の中、聴こえるのは風に揺らぐ木々の音。これはこたえませんが、これまでの日々を思い返すには絶好の時間でした。

いきなりの板間での正座。これはこたえませんが、これまでの日々を思い返すには絶好の時間でした。二日目には、「高宮」で行いました。真つ暗な森の中、聴こえるのは風に揺らぐ木々の音。これはこたえませんが、これまでの日々を思い返すには絶好の時間でした。

福間 池浦千鶴子 サークルの友みな若しその中の先輩者われ陶土を捏ねる (評) 若いサークル仲間へ向け、焼き物に挑戦する作者、簡潔な下句が生きている。

武丸 中村さつき 見の限り初雪積るも安心す東京の曾孫ら昨日帰り (評) 正月明けの帰省ラッシュの足を渋滞させた今年の初雪であったが、ああ良かったこの雪の前に曾孫達を帰して、安堵している作者の姿が見える。

光岡 森田富佐子 本で知る長葱作り食卓に子らと楽しむスキヤキうまし (評) 自働しながら見入っている作者。忠臣蔵は日本人の心の原点かつ見つめる。

光岡 河村 久光 快晴にフェンスの光る駐車場酷寒の日も乱反射して (評) 安永 久子 人並と塾通いする女の孫に重ねような！ 戦中派われ (評) 小森アル子 正月にベットの横に佇ずめば深き地の底ゆ震を感じる。

第四九九回 宗像大社歌会詠草

大野 展 夫 選 毎月 25 日 夕 切



(続) 浜の奇物

いしい ただし

173

平成十五年も前年に引き続き激しい年になりそうである。イラク、北朝鮮問題は緊迫している。二月一日には地球帰還のシャトルのコロナピア号が着陸目前にして空中分解というショッキングなニュースが飛び込んできた。全世界があつた悲劇的場面を見たのである。

さてこの冬の常連となったポリタンク容器が少ずつ数を増している。この国境なきゴミ集団は、毎年話題になるだけで正体不明である。久しぶりに福岡市海

の中道を歩いてみた。三苦海岸から海の中道駅まで全長約七キロである。ソデイカ漂着ゾーンも過ぎ、期間はずいぶん短いカワハギの漂着で賑わっている。昨年テレビでソデイカが幾度かテレビで報じられていた。富山では沖でイワシを餌に釣り上げられていたし、ソデイカ料理も紹介されていた。天ぷらやスリ身にして油で揚げたイカ天や、玄海町では一匹まるごと、三台の七厘を使ってソデイカを上に乗せて焼いているが、こんな食べ方もある。

ただろうかーと思うものもあつた。奈多漁港前の砂浜で椰子の葉を使って作られた籠(長六五センチ)を見た。昨年三月は、同じようなものを見た。この大きさは、パンノ実やココヤシの実を入れることができる。これは、広く東南アジアから太平洋諸地域に一般的に使われているものである。

小さなリュックしか持っていないが、手頃な入れ物となり、漂着物を入れて海の中道を歩いた。奈多漁港の駐車場で近くの美和台に住む大上隆氏とばつたり会つた。カワハギ二匹、一匹は全長六〇センチの大きなものを拾われていた。これは大きい。漁港近くの砂浜で、

全長七〇センチのイノシシの死骸はあつた。幼獣である。この数年イノシシの死骸をよく見る。松林に埋めて骨格標本にしようとしたが、腐敗臭が強烈だったので断念した。写真だけは撮つておいた。一月中頃、津屋崎・

勝浦浜では頭部のみが漂着していた。これはビニールに包み、私の家の近くの松林に埋めた。昨年未だに若屋の田代恒雄氏からも奇妙な頭部を拾つたとスケッチを描いたハガキをもらった。これもイノシシである。数年前も勝浦浜に頭部がころがっていた。たしかにイノシシの出没は多い、昨年の宗像のJRの脱線事故もイノシシが原因だった。ただ不思議なのは、切り落した頭部を海岸に捨てることである。少し穴を掘つて埋めればいいものと思うのだが、

大分県大野郡のシシゴゲンでは狩猟したイノシシの下顎骨だけをまとめて奉納している。東郷 田中 憲象 四方の春巻岐の光れり 許斐の座 日の里 花田いつ枝 若水や手淫に透かす生 命線 東郷 吉武 湧泉 峯遠く瑞雲柳引く初日影 東郷 吉田 杏子 枯色の蟠蟠瑞瑞戸にとまり居り 東郷 三浦美千代 手みじかに本音を云ひて十夜かな 東郷 田中 雨葉 格子戸を朝日に開く恵方かな 東郷 木原 房子 幾時過ぎて満天星燃ゆる朱

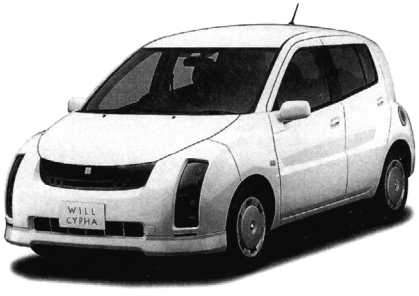
宗像大社から神湊方面に約二キロ、国道四七五号線と交差し、北九州方面に左折して約一、三キロの宗像郡玄海町大字江口字早月の海町大字江口字早月の左手前方に石鳥居、右手に小高い丘に続く石段が見えてくる。合計七十段の石段を上ると、辻八幡宮の拝殿・本殿が目に入ってくる。向かって右手境内に、昭和五十九年五月に古希記念として十二名より奉納された木造の早月社が鎮座している。

今回の末社は、この早月社に合祀されている原比女神社であるが、一説には宗像市大字野坂字原町鎮座の原神社ともいわれている。御縁起に百八社の一つとして「原比女明神」と、同高宮下符社のうち「原比女明神」とみえ、正平年中行事として、上高宮下符社のうち「原比女明神」とあり、同高宮下符神社の條には、祭禮日の記述も見える。

また、延寶末社帳には、「原比女明神大宜都比女命」とある。明細帳によると、神湊村大字江口字原比女明神に原神社(舊無格社)とあるが、宗像市野坂原町鎮座の原神社(舊無格社)が、ゲートボール場として網が張られ、宗像の長閑な田園風景が一望できる境内が、何だか違和感のある御神域となつてゐる。

話題の新車紹介 ③①

トヨタ「ウィル・サイファ」



TVコマーシャルで、街で多くの人々の目を奪っているのが、ウィルの第三弾「サイファ」です。第一弾はかぼちゃの馬車をイメージし、第二弾は「ステルス戦闘機」、第三弾は「未来のサイバーカー」をイメージしています。独自のなのは、バックステアではなく、中身も超未来的です。一、Gブックの世界の中二時代、パソコンなしでは生活出来ない時代になりつつあります。そしてついには車にもパソコンが搭載される時代になりました。この装備をネットワーク端末「Gブック」といい、トヨタの会員制情報端末「GAZOO」の会員システムを基盤に、車(サイ

ファ)に搭載される車載端末での利用を基本としている。勿論パソコン・PDA(ポケットGブック)・携帯電話からもアクセス可能です。次にGブックの機能を紹介します。

①セーフティサービス機能
トラブル発生時や車両盗難時に携帯電話から車の位置を確認出来ます。

②ライブナビゲーション機能
有力なタウン情報誌などのサービスがナビの地図上に表示されます。

③インフォメーション機能
ニュース・天気予報などを読み上げるサービスです。

④エンターテイメント機能
カラオケやBGMを車載機にダウンロードして再生できるサービスです。

⑤コミュニケーション機能
メールの送受信や伝言板、掲示板などのサービスです。これらのサービスは

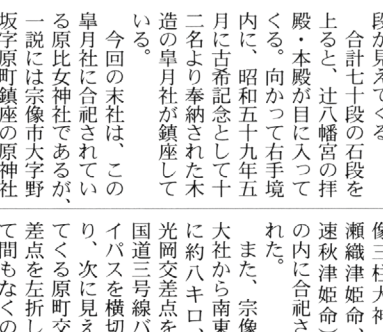
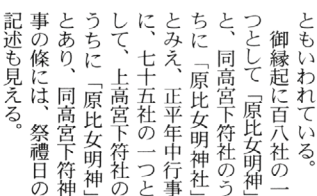
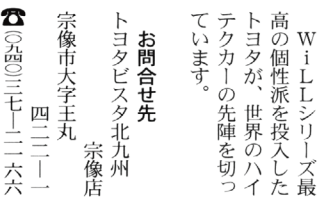
月額六五〇円、年額六六〇〇円ですので、通信費を気にせずに楽しめます。

二、ボデイ
ヴィッツとプラットフォームを共用し、ヘッドランプを縦型四連ランプで配備した姿は、一瞬ハットとするインパクトがあります。

三、ラインアップ
一三〇〇CC(二WD) 一五〇〇CC(四WD) 一五〇〇CC(四WD) 一八〇〇CC(四WD) 二四〇〇CC(四WD)

WILL シリーズ最高の個性派を投入したトヨタが、世界のハイテクカーの先陣を切っています。

お問合せ先
トヨタビスタ北九州 宗像店
宗像市大字丸 四二二一
☎0940-371-266



宗像市野坂・原神社